

誓いの言葉

本日は、二十歳という人生の節目を迎える私たちのために、このような式を開催していただきまして、まことにありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました土屋市長をはじめ、ご来賓の方々、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、私たちが上田市立第五中学校を卒業して、5年がたとうとしています。二十歳を迎えた私たちの中には、就職をして、仕事に奮闘している人もいれば、学業に励んでいる人もおり、立場は様々です。私には、将来上田市の消防職員として地域に貢献したいという夢があり、実現に向け、日々、学力向上や体力錬成に取り組んできました。その努力が実を結び、来年度から消防職員として働く夢を叶えることができました。とても険しい道のりではありましたが、まだスタートラインに立っただけなので、これからも努力を積み重ねていきます。

それぞれが違った道を歩いていく中で、私たち1人1人が自分の行動に責任を持ちつつ、社会の一員である自覚をもって進んでいきます。

また、現代社会は、SNSの普及により、多くの情報があふれています。自分の行動に責任を持ち、今後の社会を生きていく私たちにとって、正確に情報を選択していくことが、求められるスキルだと思います。誤った選択をしないよう、また、そうした情報だけに頼ることなく、目の前にいる人とのつながりも大事にしていきたいと思います。

最後になりますが、この場をお借りして、今日に至るまで愛情をもって育ててくれた家族や地域の方々、ご指導いただいた先生方、ともに学び、大切な時間を共有した友人たちに、改めて心から感謝を申し上げます。

まだまだ未熟な私たちではありますが、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

この感謝の気持ちと上田市で生まれ育った誇り、そして二十歳を迎えての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓います。

令和6年1月7日
上野が丘公民館会場
(第五中学校区域)
成人代表 遠田圭佑